

にっせい農事にゅーす

(第468回)

日星コーポレーション株式会社

アグロ部 (054-263-2860)

2025年の病害虫の発生状況を振り返ってみると、前年の2024年に比べ病害虫の発生が少なかつたように思われます。病害虫防除所が発表した防除対策の実施を呼び掛ける特別発生予察情報は2024年が14報(注意報6, 特殊報2, 技術情報6)であったのに対して、2025年は7報(注意報2, 特殊報1, 技術情報4)と半数でした。その多くは害虫を対象としたもので、昨年同様、現場では斑点米カメムシ類や果樹カメムシ類等のカメムシが問題でした。これらのカメムシ類は、稻や果樹の収穫物を吸汁するために品質低下につながる上、加害場所と生息場所が異なるため、薬剤を散布しても薬液が害虫に十分届かず防除効果が上がりにくい等の問題が叫ばれています。一方、病害の発生は全体的に少なく、温州みかんで黒点病、かいよう病の発生が多い状況が続いている程度です。

「12月の病害虫」

病害虫防除所の12月予報では、温州みかんでミカンハダニ(西部地域)が多、だいこんでアブラムシ類が多、たまねぎでネギアザミウマがやや多、ねぎでネギアザミウマが多、いちごでうどんこ病(西部地域)、アザミウマ類、アブラムシ類(中遠地域)が多、ハダニ類(中遠地域)がやや多、の予想です。

令和7年11月25日

気象予報 '25-12

東海地方3か月気象予報

名古屋地方気象台

●12~2月の予報

降水量は、少ない確率50%です。

●月別の予報

12月：平年に比べ晴れの日が多いでしょう。降水量は、平年より少ない確率が50%。

1月：平年に比べ晴れの日が多いでしょう。降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。

2月：平年に比べ晴れの日が多いでしょう。降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。

●向こう3か月の気温、降水量の各段階の確率(%)

予報の区分	気温			降水量		
	低い	平年並	高い	少ない	平年並	多い
3か月	30%	30%	40%	50%	30%	20%
12月	30%	30%	40%	50%	30%	20%
1月	30%	40%	30%	40%	40%	20%
2月	30%	40%	30%	40%	40%	20%

病害虫発生予察情報(12月予報)

令和7年 11月 27日
静岡県病害虫防除所長

1 予報概況

作物名	病害虫名	予 報 (12月の県平均平年値)	予 報 の 根 拠
温州 みかん	青かび・緑かび病	発生量:並	11月上旬発生量:樹上:少 (-) :落果:やや多 (+) 気象予報:気温:ほぼ平年並 (±) 降水量:少ない (-)
	ミカンハダニ	発生量:地域により差がある 東部:やや少 中部:並 西部:多	11月上旬発生量:地域により差がある 東部:少 (-) 中部:やや少 (-) 西部:多 (+) 気象予報:気温:ほぼ平年並 (±) 降水量:少ない (+)
トマト	葉かび病・ すすかび病	発生量:やや少 (発病株率12.1%)	11月中旬発生量:少 (-) 気象予報:気温:ほぼ平年並 (±) 降水量:少ない (-)
	灰色かび病	発生量:やや少 (発病株率2.8%)	11月中旬発生量:少(発生なし) (-) 気象予報:気温:ほぼ平年並 (±) 降水量:少ない (-)
	黄化葉巻病	発生量:やや少 (発病株率2.5%)	11月中旬発生量:少(発生なし) (-) コナジラミ類発生量:やや少 (-) 防除員からの報告:やや多 (+) 気象予報:気温:ほぼ平年並 (±)
	コナジラミ類	発生量:やや少 (寄生株率13.2%)	11月中旬発生量:やや少 (-) 気象予報:気温:ほぼ平年並 (±)
だいこん	黒斑細菌病	発生量:少 (発病株率3.5%)	11月下旬発生量:少(発生なし) (-) 気象予報:気温:ほぼ平年並 (±) 降水量:少ない (-)
	白さび病	発生量:少 (発病株率2.5%)	11月下旬発生量:少(発生なし) (-) 気象予報:気温:ほぼ平年並 (±) 降水量:少ない (-)
	モザイク病 (アブラムシ類)	モザイク病発生量:少 (発病株率1.7%) アブラムシ類発生量:多 (寄生株率6.3%)	11月下旬発生量: モザイク病:少(発生なし) (-) アブラムシ類:多 (+) 気象予報:気温:ほぼ平年並 (±) 降水量:少ない (+)
	コナガ	発生量:少 (寄生株率0.8%)	11月下旬発生量:少(発生なし) (-) フェロモントラップ誘殺数:多 (+) 気象予報:気温:ほぼ平年並 (±) 降水量:少ない (+)
	ナモグリバエ	発生量:少 (寄生株率5.7%)	11月下旬発生量:少 (-) 気象予報:気温:ほぼ平年並 (±) 降水量:少ない (+)

作物名	病害虫名	予 報 (12月の県平均平年値)	予 報 の 根 拠
キャベツ	黒腐病	発生量:少 (発病株率1.3%)	11月中旬発生量:少(発生なし) (-) 気象予報:気温:ほぼ平年並 (±) 降水量:少ない (-)
	菌核病	発生量:少 (発病株率0.4%)	11月中旬発生量:少(発生なし) (-) 気象予報:気温:ほぼ平年並 (±) 降水量:少ない (-)
	コナガ	発生量:少 (寄生株率0.2%)	11月中旬発生量:少(発生なし) (-) 気象予報:気温:ほぼ平年並 (±) 降水量:少ない (+)
	オオタバコガ	発生量:少 (寄生株率0.04%)	11月中旬発生量:少(発生なし) (-) 気象予報:気温:ほぼ平年並 (±) 降水量:少ない (+)
	タマナギンウワバ	発生量:少 (寄生株率0.4%)	11月中旬発生量:少(発生なし) (-) 気象予報:気温:ほぼ平年並 (±) 降水量:少ない (+)
	アブラムシ類	発生量:少 (寄生株率0.7%)	11月中旬発生量:少(発生なし) (-) 気象予報:気温:ほぼ平年並 (±) 降水量:少ない (+)
たまねぎ	腐敗病	発生量:少 (発病株率0.7%)	11月中旬発生量:少(発生なし) (-) 気象予報:気温:ほぼ平年並 (±) 降水量:少ない (-)
	ネギアザミウマ	発生量:やや多 (寄生株率25.7%)	11月中旬発生量:やや多 (+) 被害度:低い (-) 気象予報:気温:ほぼ平年並 (±) 降水量:少ない (+)
ねぎ (白ねぎ)	さび病	発生量:少 (発病株率0.9%)	11月中旬発生量:少(発生なし) (-) 気象予報:気温:ほぼ平年並 (±) 降水量:少ない (-)
	黒斑病・葉枯病	発生量:少 (発病株率1.9%)	11月中旬発生量:少 (-) 気象予報:気温:ほぼ平年並 (±) 降水量:少ない (-)
	ネギアザミウマ	発生量:多 (寄生株率8.8%)	11月中旬発生量:多 (+) 被害度:高 (+) 気象予報:気温:ほぼ平年並 (±) 降水量:少ない (+)
	ネギハモグリバエ	発生量:少 (寄生株率1.8%)	11月中旬発生量:少 (-) 気象予報:気温:ほぼ平年並 (±) 降水量:少ない (+)
レタス (非結球レタスを除く)	斑点細菌病	発生量:少 (発病株率0.7%)	11月中旬発生量:少(発生なし) (-) 気象予報:気温:ほぼ平年並 (±) 降水量:少ない (-)
	べと病	発生量:少 (発病株率0.9%)	11月中旬発生量:少(発生なし) (-) 気象予報:気温:ほぼ平年並 (±) 降水量:少ない (-)

作物名	病害虫名	予 報 (12月の県平均平年値)	予 報 の 根 拠
いちご	うどんこ病	発生量: 地域により差がある 東部: 少 中部: 少 西部: 多 (発病株率 1.1%)	11月上中旬発生量: 地域により差がある 東部: 少(発生なし) (-) 中部: 少(発生なし) (-) 中遠: 多 (+) 気象予報: 気温: ほぼ平年並 (±)
	炭疽病	発生量: 少 (寄生株率 1.3%)	11月上中旬発生量: 少 (-) 気象予報: 気温: ほぼ平年並 (±)
	アザミウマ類	発生量: 多 (寄生株率 2.7%)	11月上中旬発生量: 多 (+) 気象予報: 気温: ほぼ平年並 (±)
	アブラムシ類	発生量: 並 ただし、中遠: 多 (寄生株率 2.8%)	11月上中旬発生量: 並 (±) ただし、中遠: 多 (+) 気象予報: 気温: ほぼ平年並 (±)
	ハダニ類	発生量: やや少 ただし、中遠: やや多 (寄生株率 18.1%)	11月上中旬発生量: やや少 (-) ただし、中遠: やや多 (+) 気象予報: 気温: ほぼ平年並 (±)
	ハスモンヨトウ	発生量: 少 (寄生株率 0.1%)	11月上中旬発生量: 少 (-) フェロモントラップ誘殺数: 少～多 (-～+) 気象予報: 気温: ほぼ平年並 (±)

今月の防除(令和7年12月)

作物	時期	病害虫	使用薬剤	使用法	使用基準	備考
チャ	上～中	灰色かび病	ペフドー水和剤	500倍	7日-2	花で一次感染し、次に葉に移る。 多雨は多発条件となる。
カンキツ	下	ミカンハダニ及び カイガラムシ類	ハーベストオイル	60倍	---	12月～3月の冬期に使用、ただし 樹勢の弱い園や凍害を受けやすい 園では、オイル散布は3月に行う。
イチゴ	上～下	うどんこ病 灰色かび病 ハダニ類 アブラムシ類	スコア顆粒水和剤 トリフミン水和剤 カンタストライフロアブル マイトコーネフロアブル チエス顆粒水和剤	2,000倍 3,000倍 1,000倍 1,000倍 5,000倍	前日-3 前日-5 前日-3 前日-2 前日-3	ネクスタークロアブル(前日-3)1000倍も可。 スミレックスくん煙顆粒(前日-3) 6g/100m ² も可。 散布翌日からミツバチの導入可
トマト	上～下	灰色かび病 葉かび病 コナジラミ類	ジャストミート顆粒水和剤 ダコニール1000 又は ネクスタークロアブル ディアナSC 又はコルト顆粒水和剤	2,000倍 1,000倍 1,000倍 2,500倍 4,000倍	前日-3 前日-4 前日-3 前日-2 前日-3	アフェットフロアブル2000倍(前日-3)も可 ケミヘル1000倍(前日-1)も可。
ミニトマト	上～下	灰色かび病 葉かび病 コナジラミ類	アフェットフロアブル ダコニール1000 又は カンタストライフロアブル ディアナSC 又はコルト顆粒水和剤	2,000倍 1,000倍 1,000倍 2,500倍 4,000倍	前日-3 前日-4 前日-3 前日-2 前日-3	ケミヘル1000倍(前日-1)も可。
ナス (促成)	上～下	灰色かび病 うどんこ病 すすかび病 ハダニ類 アザミウマ類及び チャノホコリダニ	ロブラー水和剤 アミスター20フロアブル カンタストライフロアブル アグリメック アファーム乳剤	1,000倍 2,000倍 1,000倍 1,000倍 2,000倍	前日-4 前日-4 前日-3 前日-3 前日-2	スミレックスくん煙顆粒(前日-6)も可。 ネクスタークロアブル1000倍(前日-3)も可 アフェットフロアブル2000倍(前日-3)も可 カネマイクロアブル1000倍(前日-1)も可
レタス	上～下	軟腐病・腐敗病 および斑点細菌病 灰色かび病・菌核病・ すそ枯病 べと病 アブラムシ類 ハモグリバエ類	キノンドーフロアブル又は カッパーシン水和剤 アフェットフロアブル ネクスタークロアブル アミスター20フロアブル又は ライメイフロアブル ウララDF パダンSG水溶剤 又は プレバソンフロアブル5	800倍 1,000倍 2,000倍 1,000倍 2,000倍 2,000倍 1,500倍 1,000～ 2,000倍	21日-5 7日-4 前日-3 前日-3 7日-4 3日-3 前日-2 14日-3 前日-3	スターナ水和剤2000倍(7日-2)も可 カッパーシンは軟腐病には適用なし。 スミレックス水和剤1000倍(7日-5)も可 ザンプロMDフロアブル1500倍(3日-3)も可 ディアナSC2500～5000倍(前日-2)も可
キャベツ	上～下	黒腐病・軟腐病 コナガ・ オオタバコガ アブラムシ類	バリダシン液剤5 又は カッパーシン水和剤 ディアナSC 又は コテツフロアブル 又は プレバソンフロアブル5 又は ベネビアOD アルバリン顆粒水溶剤	800倍 1,000倍 2,500～ 5,000倍 2,000倍 2,000倍 2,000倍 2,000倍	7日-5 7日-4 前日-2 前日-2 前日-3 前日-3 3日-2	細菌病は予防散布に努める。
ネギ	上～下	さび病 黒斑病 ネギアザミウマ ネギハモグリバエ	ストロビーフロアブル ロブラー水和剤 アクタラ顆粒水溶剤 又は ディアナSC	2,000倍 1,000倍 1,000倍 2,500～ 5,000倍	7日-3 14日-3 3日-3 前日-2	アミスター20フロアブル2000倍(3日-4)も可 ダコニール1000の1000倍(14日-3)も可 ウララDF1000倍(前日-3)も可 ダントツ水溶剤2000倍(3日-4)も可

*使用前には、ラベルをよく読み、登録内容に沿って使用してください。